

第8回「女性航空教室 Yes I can」開催報告

文：浦松香津子 写真：堀川典子



格納庫での記念撮影

2024年1月14日(日)、JAL スカイミュージアムにて第8回「女性航空教室」が開催されました。航空業界を担う人材を呼び込むための方策の一つとして2015年度にスタートしたこの教室、若い女性に活躍する先輩方の話を聞いていただき、航空業界へ志望してもらおうということが狙いです。

今回は参加者の対象年齢を下げたことで、多くの中学生、高校生が参加し、大きな成果があったと思われます。また初の試みとしてオンライン配信を企画しました。参加者や講師の方々から寄せられた感想やご意見も併せてご紹介しましょう。

PROGRAM

01 | 開催挨拶

国土交通省 航空局 安全政策課 乗員政策室長 湊孝一氏
経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長 相馬知子氏

02 | お仕事紹介

航空整備士 株式会社 JAL エンジニアリング 佐藤友美さん
航空整備士 スカイマーク株式会社 野々村茜さん
航空機操縦士 日本航空株式会社 茂木みな美さん
航空機操縦士 株式会社ソラシドエア 大矢優樹さん
製造技術者 株式会社 JAL エンジニアリング 中嶋彩夏さん
製造技術者 大和合金株式会社 高木実菜さん
パークハート・ローレンさん
ヘリコプター操縦士 中日本航空株式会社 内海亜沙美さん
ヘリコプター整備士 中日本航空株式会社 吉嶺磨波さん

03 | 施設見学

04 | グループディスカッション

日時：令和6年1月14日(日) 10:00～16:50

場所：JAL スカイミュージアム ラウンジ

参加者：11歳から26歳までの女性のみ限定

主催：(一社) 日本航空宇宙工業会、(公社) 日本航空技術協会
(公社) 日本航空機操縦士協会 (一社) 全日本航空事業
連合会 (一社) 日本女性航空協会

共催：航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会、
航空機操縦士養成連絡協議会

後援：国土交通省航空局、経済産業省製造産業局、
文部科学省研究開発局

国土交通省 湊室長



経済産業省 相馬室長



魅力あふれる講師陣をご紹介します！

この教室の最大の特徴は、航空業界の現役で活躍する女性たちの話を身近に聞けることに加え、10名ほどのグループで輪を作り、講師を交えて聞きたいこと、知りたいこと、心配ごとなどを直接講師と話せること。毎回「とても良い経験でした!」という声が寄せられています。加えて、JAL スカイミュージアムでの開催ということで施設見学ツアーも大好評。普段は巨大な航空機を近くで見ることができませんからね。

実参加者は会場の収容人数から60名限定で募集し55名、オンライン配信には12名の参加者数でした。今回中学生も対象に加え、都内の中学・高校に案内を送ったところ、大変反応が早く、中・高生の参加が多くなり、例年過半数を占める大学生が少なくなったという状況。そのため、グループディスカッションの雰囲気がやや例年と異なり、おとなしい感じでしたので、講師の皆さんが積極的に話しかけて質問を引き出してくださいました。

一 講師の話に女性たちの真剣なまなざしが

開催にあたって、航空局の湊孝一乗員政策室長には、航空業界の展望を、経済産業省の相馬知子経済社会政策室長は女性の活躍に期待していることなどをお話いただき、行政としての力強い後押しが感じられました。そしていよいよ現役の講師の方々のお仕事紹介がスタート。

プログラムは目白押しで、各自持ち時間は15分、パワーポイント資料を駆使して、講師の方々がどのような過程で今の仕事に就いたのか、業務の内容はどういうものか、ワークライフバランスへの取り組み、悩んだことなど率直かつユーモアあふれるすばらしいお話をお聞かせくださいました。参加者は一言も聞き漏らさないぞと真剣そのもの。

事前に寄せられた質問を講師にお伝えしていたので、女性特有の話も女性のキャリアアップもお仕事紹介の話に盛り込んでくださいました。そこで、より突っ込んだ話がグループディスカッションでできたのではないかと考えます。

施設見学では、手持ちカメラにて実参加者と一緒に移動しながらのオンライン生中継。解説の音声が少ない聞き取りにくかったかもしれません。次回はぜひ実参加したいとの声がほとんどでした。



航空整備士 佐藤友美さん
(株) JAL エンジニアリング

仕事を始めて、いま10年目になります。羽田空港で、機体客室電装の仕事をしています。飛行機の仕事は、知識・経験を活かし、五感をフルに活用して行うことができる仕事で、責任の大きさがやりがいに繋がっており、仕事をする仲間との信頼関係のなかで飛行機を仕上げていきます。飛行機を利用するお客様や乗務員を含めて、関わっているすべての人たちの想いを運んでいると思うと、役に立っているという実感があり、頑張れます。



航空整備士 野々村茜さん
スカイマーク(株)

2019年に入社、2021年10月に神戸空港支店整備課で勤務をしています。整備の仕事は、勉強が難しいのかな…と思われる方には、初期訓練や社内資格訓練では同僚と一緒に勉強するので切磋琢磨できますし、体力が必要なのかな…と思われる方には、あった方がよいけれど、なくても助け合いながら整備作業を行うので問題ない、と思います。チームで整備作業を行うので達成感を得られています。



航空機操縦士 茂木みな美さん
日本航空(株)

2018年運航乗務員訓練生(自社養成)として入社、2022年ボーイング737型機の副操縦士として昇格し、現在、国内線を中心に乗務を行っています。パイロットの仕事は、お客様や荷物を安全かつ快適に目的地に運ぶ責任があります。チームをまとめて目標を達成する責任を感じながら仕事をしています。パイロットには、誰にでもなれるチャンスがあり、入社前に特別な知識は必要なく、どのような学部・学科からでも、チャレンジすることができます。

トータルコーディネートされたプログラムが就職の機会拡大と人材の早期戦力化を図ります。

株式会社 A.R.T.
アビオン エアラインスクール

東京 東京都港区元赤坂1-1-15 ニュートヨビル7階
電話 03-6804-6184 FAX 03-6804-6183
E-mail : info@avion-air.com
http://www.avion-air.com

大阪 大阪大阪市北区梅田1丁目3-1 大阪駅前第一ビル3階
電話 06-6136-3110 FAX 06-6136-3111



航空機操縦士 大矢優樹さん
(株)ソラシドエア

パイロットの仕事は、飛行機を操縦して出発地から目的地まで安全にお客様を運ぶことです。飛行機を飛ばすためには、情報収集や共有が大切で、天気、経路、燃料等、必要な情報収集と一緒に飛行する CA と情報共有します。ソラシドエアには、2 人のママさんパイロットが所属しており、そのうち1人は機長昇格後に出産し、現在産休されています。もう一人は、副操縦士の間に2人出産し、3年間の育休・産休を経て現在ご活躍され、来年度は機長昇格訓練に挑戦されます。



製造技術者 中嶋彩夏さん
(株) JAL エンジニアリング

2021年11月から、羽田航空機整備センター機体点検整備部に配属され、2023年6月から技術部技術企画室生産技術グループで仕事をしています。航空機の安全を守るため、不具合の防止や品質の向上に対して、中・長期的な視点から技術的にマネジメントする役割を担う、技術部の仕事をしています。当社では、出産・育児との両立支援制度があり、男性、女性とも3歳まで育児休業制度があります。女性には、育児時間制度、整備現業では夜勤免除制度、介護休暇制度等があり、仕事を続けていくことができる環境が整っています。



製造技術者 高木実菜さん
パークハート・ローレンさん
大和合金(株)

大和合金では、銅合金の素材を作っており、ランディングギアのブッシュの材料を製造し、航空機の製造における縁の下での力持ちとしての仕事をしています。航空機部品の製造は、高い品質が求められており、7種類の材質を利用し、30種類以上の規格への適合が求められます。アジア、ヨーロッパ、北アメリカの顧客に提供していて、顧客から必要とされているものをつくっているということにやりがいがあります。



ヘリコプター整備士 吉嶺磨波さん
中日本航空(株)

ヘリコプターの整備士として耐久証明検査の受検や、ヘリコプターの定時点検等を行っています。整備士の仕事は、主に格納庫内で作業を行います。格納庫が建て替えられ、冷暖房完備の中で仕事をする環境がとても良くなりました。この仕事で一番大切なことは、関係するすべての人とコミュニケーションを取ることとあり、それが安全につながると思っています。

ヘリコプター操縦士 内海亜沙美さん
中日本航空(株)



パイロットとして、ヘリコプターに計測器材を載せて地形を計測する測量飛行、ニュース映像や資料映像の撮影を行う報道ヘリ、空中からのウリミバエ防除作業などを行っています。

ヘリコプターの免許は、民間のフライトスクール、大学のヘリコプターパイロットコース、自衛隊、海外、警察・消防などで取得する方法があります。中日本航空では、奨学訓練生制度があり、免許を取得する支援が行われています。

ランディングギア用
ブッシング (輪受)
銅合金材料メーカー

LIEBHERR
SAFRAN 認定

AMS4590
UZ19A等
スベック対応



大和合金株式会社
YAMATO GOKIN
MIYOSHI GOKIN KOGYO

埼玉県入間郡三芳町上富474
TEL: 049 - 273-6006

アンケート回答から熱い思いをご紹介します

(回答文ママ)

● 以前から航空関係の仕事に興味があったので、女性がどのように活躍しているのかを知ることができて、とても有意義な時間を過ごせた。今まで、操縦士・整備士と言うものは「男性が多い」というイメージがあり、それだからこそその働きづらさもあるのかなと勝手に思っていたが、講師の方々が自分の仕事に就いて話するとき、とてもキラキラしていて、とてもかっこよかった。(中1)

● 私が申し込む時点ではもうすでに実際に行くプランの予約は埋まっていたので、残念ながら今回はオンラインでの参加になってしまいましたが、次回がある場合にはまた参加したいなと思える楽しいイベントでした。女性でもまだまだ世界で活躍していけるということを目の当たりにして勇気を持ったので、今回話していただいた方に感謝と尊敬をしています。(中1)

● 「パイロットになりたい」という漠然とした夢が、今回の教室で憧れの先輩のお話を聞いて進路や方向性が少し見えてきた気がしました。また、今までのあまり知る機会がなかったヘリコプターパイロットや整備士などの職業にも興味を持つきっかけになりました。今回お話して下さった航空業界の活躍されている方のように、私も将来なれたら良いなと思っています。(中2)

● 元々、CA など機内での仕事に興味がありましたが、今回のイベントを通して新しい職種を知ることができ、また、航空会社に将来入りたい!という気持ちが一層高まりました。実参加ならではのディスカッションでも沢山交流することが出来て良い経験だったと思います。(中3)



● 飛行機に興味を持っていて、作ったり直したりをしてみたいという漠然とした考えで今回参加したのですがエアラインの他の職業についても興味を持ち、今後どうするのかについていろいろ考えられる場となりました。(高1)

● どの職種も素敵なプレゼンテーションで魅力的でした。イベントに参加するまで夢だったものが絶対に実現したい夢になりました。講師の皆さんのようにかっこいいキャリアウーマンになりたいです。会場からの景色もきれいで感動しました。これから大学入試や就活でも航空機への憧れを忘れず努力を続けて、いつかこのイベントの講師をやります。全力で頑張ります。(高2)

● 普段はあまり関わることの出来ない職種の方々からたくさんのお話を聞くことが出来て非常に勉強になりました。また、かなり踏み込んだ内容の質問にも丁寧に応答して下さいて貴重な時間を過ごすことが出来たと思います。今回の女性航空教室で夢が広がりました。(大1)

● 航空機への憧れは昔からありましたが、文系大学へ進学し、程遠い世界であるのではないかとも思っていました。今回、多くの講師の方のお話を聞いて、文理関係なくいろいろな方が活躍していることを知り、思っていたほど、案外悩みすぎる必要もないのかなと思えるようになりました。まだ多くの可能性があると思ったので、夢に向かって日々努力したいと思います。(大2)

● 航空業界の女性の働く場所が客室乗務員や地上旅客業務だけではないことが、お話を聞いたことでよくわかり、選択肢の幅が広がったように感じました。(大3)

株式会社 Japan General Aviation Service



Japan General Aviation Service
Safety and Good Flight Always

航空機・航空機部品輸入販売、機体整備、操縦訓練受託

〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-8-2 5階

☎ 03-5708-7111 ✉ info@jgas.com

公式サイト <https://www.jgas.com>

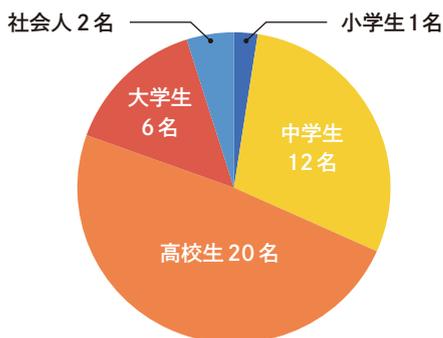
JGAS 検索

2024年4月1日、Honda Jet 認定サービスセンターに指定されました

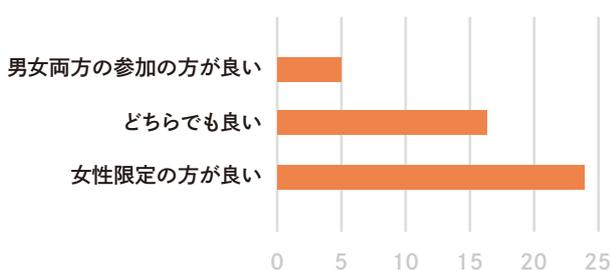
—「女性限定」について講師の皆様の感想は？

- 同性だと聞きやすいことがあったり、相談しやすいといった方は多いと思うので大変良い機会だと感じました。年齢も様々で就活などとは違う貴重な場であったと思います。楽しいこと、つらいことなど振り返られたなと思います。
- 今回講師役を依頼されて、初めて女性航空教室の存在を知りました。就活時、女性パイロットの知り合いがおらず、OG 訪問する機会を探すことに苦労したため、このような教室があるのはとても有意義だと思いました。
- (自分の職種以外の) 操縦士や整備士の方の貴重なお話が聞けました。また参加者の方々が熱心に聞いて下さり、質問もしっかりしていて、夢を持っていることがかっこいいなと感じました。
- 普段男性が多い環境で過ごしているので、女性が多い中で仕事の話ができて嬉しかったですし、場が穏やかで居心地が良かったです。

実参加者アンケート回答数 41 名の所属



女性限定の教室についてアンケート結果



— 最年少参加者・富安環圭（わか）さんが航空無線通信士合格！

「私はレースパイロットになりたいくて教室に参加しました。航空無線通信士の勉強は夏休みからやっていたのですが、今回女性パイロットの方からパイロットに必要な資格と聞いて思いを強くして勉強し、合格できました。頑張ってレースパイロットになりたいです。」

小学6年生の環圭さんが夢に向かって努力し、結果を出したということは大変すばらしく、今回の教室がその大きな後押しをしたことに、女性航空教室の大きな意義を感じます。

